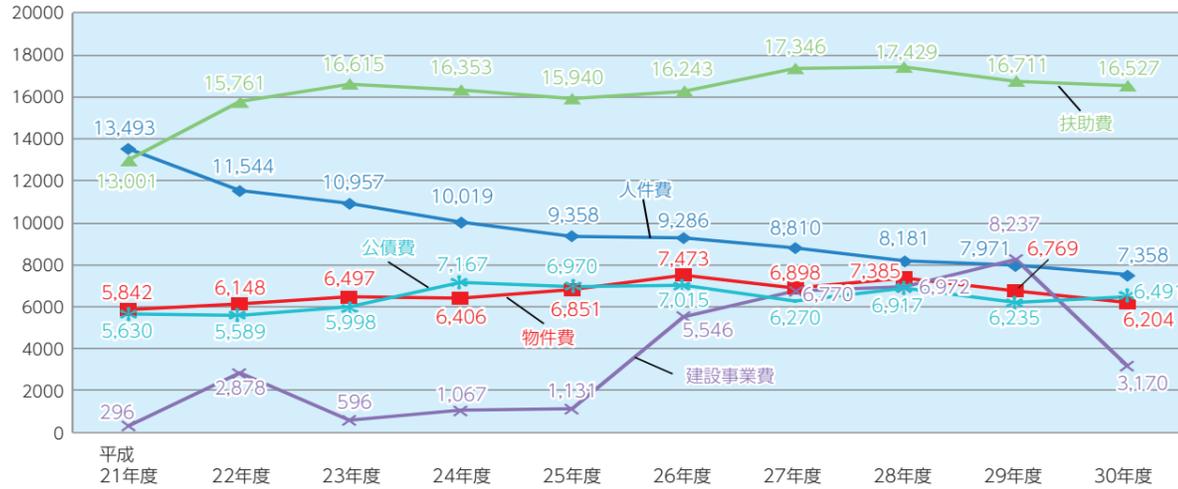


歳出

歳出では、人件費で退職者数が前年度と比較して増加することから、退職手当は6億5,916万円(対前年度 1億2,743万円の増)となるものの、職員数の減により、人件費全体で前年度比4億3,221万円(対前年度 5.4%)の減となりました。扶助費は公害健康被害補償事業および児童手当について、1億1,918万円の自然減になっており、生活保護費についても、生活保護事業の一層の適正化などによって、8,000万円減少しています。これらによって、扶助費全体では前年度比1億8,359万円(対前年度 1.1%)の減となります。補助費などについては、消費税率変更延期に伴う臨時福祉給付金支給事業の終了により6億円の減となっているものの、私立認定こども園入所児童数の増により、認定こども園等運営助成費が46億7,158万円(対前年度 11億3,031万円の増)となり、補助費など全体で前年度比15億9,673万円(対前年度 10.2%)の増となっています。また、建設事業費は、よつば小学校新築工事、寺方南小学校新築工事、さくら小学校実施設計業務委託等の統合校整備事業の終了および、市立にじいろ認定こども園新築工事の終了などにより31億7,037万円となり、前年度比で50億6,664万円(61.5%)の減となりました。

■主な歳出予算の推移(性質別)

(単位：百万円)



◆主な歳出予算の推移(性質別)の説明

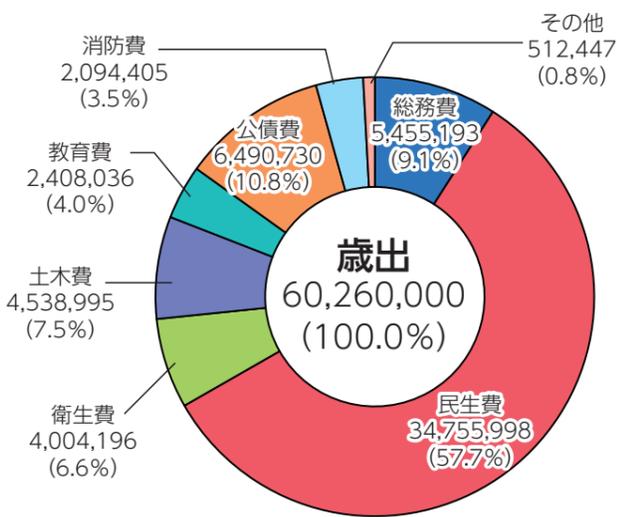
- 人件費** 職員の給料や退職手当などの費用
- 扶助費** 児童手当の支給、生活保護者や障がいのある人への支援のための費用
- 物件費** 消耗品、光熱水費、修繕費などの諸費用や、業務委託のための費用
- 建設事業費** 小・中学校、道路・公園などの公共施設の建設・改良のための費用

◆歳出の内訳(目的別)の説明

- 総務費** 戸籍・住民登録、徴税、財産の維持管理、一般的な管理事務に関する経費など
- 民生費** 高齢者福祉・障がい者福祉、児童手当、生活保護など
- 衛生費** ごみの処理、予防接種、健康診査などの保健衛生など
- 土木費** 道路、下水、公園の建設・維持管理など
- 教育費** 小・中学校の運営および施設維持管理の費用など
- 公債費** 市債および一時借入金の元金利息の返済
- 消防費** 消防や火災予防など災害対策のための費用
- その他** 議会運営費、商業・農業振興など

▼一般会計歳出の内訳(目的別)

(単位：千円)



平成30年度においては、景気の回復基調の中で、市税収入全体については昨年度に引き続き、わずかながら増加が見込まれるものの、扶助費をはじめとする義務的経費が歳出の約50%を占めている中で、公共施設、社会インフラについては、老朽化に伴うランニングコストや設備更新に伴う経費の増加などが見込まれることから、依然として厳しい財政運営を強いられる状況にあります。

今後も事務事業の改善や、民間活力の導入などの行財政改革に取り組みながら、安心の子育て・子育てと、子育て世代の定住による活力と成長の「もりぐち」の実現に向け、引き続き、子育て支援に積極的に取り組むなど、「住んでみたい、住み続けたいまち」「**歓喜都市もりぐち**」を実現するための施策を実施してまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また、事務事業の改善に向けて、市では「事務事業評価」を実施しており、行政の透明性を高める観点から、各事業の今後の方向性など、市の考え方を公開しています。内容などにつきましては、市情報コーナーおよびホームページをご覧ください。

平成30年度 一般会計当初予算

602億6,000万円

平成30年度の当初予算の総額は、一般会計と特別会計を合わせて総額906億6,537万円で、前年度当初予算額に比べて101億5,710万円(10.1%)の減となっています。

一般会計の当初予算は602億6,000万円で、前年度当初予算額と比べて53億1,000万円(8.1%)の減となっています。

問 財政課(予算) TEL 06-6992-1402 問 企画課(事務事業) TEL 06-6992-1407

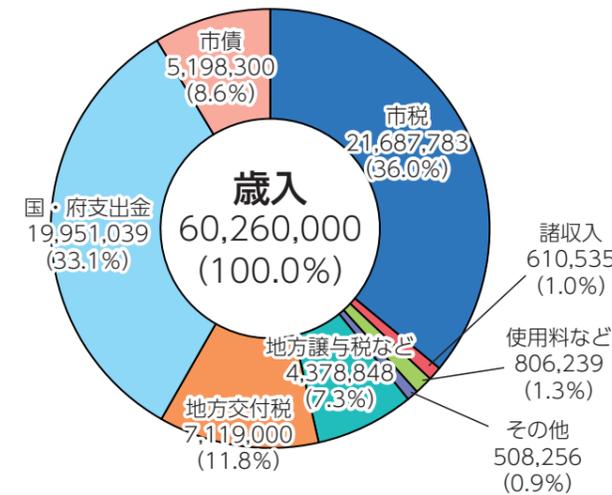
各会計当初予算

(単位：千円)

会計名	平成30年度	平成29年度	増減額
一般会計	60,260,000	65,570,000	△ 5,310,000
特別会計			
国民健康保険事業会計	15,739,000	21,010,000	△ 5,271,000
後期高齢者医療事業会計	2,010,000	1,890,000	120,000
公共用地先行取得事業会計	491,000	472,000	19,000
<小計>	18,240,000	23,372,000	△ 5,132,000
水道事業会計	4,485,309	4,477,645	7,664
下水道事業会計	7,680,056	7,402,823	277,233
《特別会計合計》	30,405,365	35,252,468	△ 4,847,103
【総計】	90,665,365	100,822,468	△ 10,157,103

▼一般会計歳入の内訳

(単位：千円)



歳入

歳入については、市税収入が216億8,778万円の前年度から1,881万円(0.1%)の増となりました。これは、地価の下落および評価替えにより固定資産税が1億9,403万円の減収見込みであるものの、景気改善の傾向から、労働人口の増加により個人市民税が2億1,422万円の増収となることや、法人収益の増加により法人市民税も9,168万円の増収見込みであることが要因となっています。

市債は、よつば小学校新築工事、寺方南小学校新築工事、さくら小学校実施設計業務委託等の統合校整備事業の終了により、教育債が前年度より22億9,010万円減少となっており、総額は51億9,830万円となり、27億6,680万円(34.7%)の減となりました。

■市税収入(予算額)の推移

(単位：百万円)

